



戸田市の教育改革の取組 (平成31年度版)

戸田市が目指す
「世界で活躍できる人間」

世界に関心を持ち、地球規模で未来を考えることができる子
自分の力を他者や社会のために使いたいという意欲を持つ子
多様性を理解し、他者と協働して問題の解決に取り組める子



SEEP **S**:STEAM (Science, Technology, Engineering, Art and Math) **E**:EBPM (Evidence-based Policy Making) **E**:EdTech (Education × Technology) **P**:PBL (Project-based Learning)

1 EBPMの推進

優れた指導法や教育施策を質的・量的の両方の観点で分析し、授業改善や政策立案に生かす。

「教育政策シンクタンク」(仮称) 設置
エビデンスベースでの政策づくりを自律的に推進するための組織の立ち上げ
★多様なスキルを持った教育行政プロの採用

- 外部との共同研究
- ★慶應義塾大学等：埼玉県学力調査の分析による非認知能力と学力の関係など
 - ★筑波大学：特別支援教育に関する研究
 - ★国立情報学研究所、(社)教育のための科学研究所：リーディングスキルの視点からの授業改善
 - ★埼玉県教育委員会：県学力調査と教員質問紙調査を活用した優れた指導法の分析
 - ★(株)ベネッセ：「ミライシード」を活用したR-PDCA支援モデル
 - ★(株)LITALICO：①ユニバーサルデザインに基づく学級経営と授業実践
②ペアレントトレーニングの導入
③個別の指導計画策定システムの導入
 - ★IGS (株)：GROWによる教育効果の可視化の研究

2 「授業力」の向上

これからの時代を生き抜くために必要な力を子供たちに身につけさせるため、授業改善をはじめ、すべての教育改革の取組を教室での子供の学びに結びつける。

アクティブ・ラーニング推進のための「戸田型授業改善モデル」
本市独自のルーブリックを核として多角的な授業改革の取組を実施する。

「子供たちに身につけさせたい力」は何か

- 各学校における具体的な教育目標の設定と教師の意識改革
 - ★具体的な教育目標を設定した「授業力向上プラン」の作成
 - ★「非認知スキル育成プログラム」の作成
 - ★本市で作成した「資質・能力ルーブリック」の活用

子供たちが何を学ぶか

- 基礎的な知・徳・体の効果的・効率的な習得
- 産官学民との連携による新たな学びの実践
- ★各学校への産官学民の連携メニューの提示や導入のサポート

子供たちがどう学ぶか

- アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の推進
 - ★本市の作成した「学習指導ルーブリック」の活用促進(学校訪問時の指導、研究協議会での活用等)
 - ★県学力調査・全国学力調査等の分析結果のフィードバック
 - ★学校訪問改革、校内研修の活性化
 - ★県学力調査や教員調査によるルーブリックの検証、改善
 - ★(NPO) Teach for Japan：民間の知見や高い社会人力を活用した教育実践
 - ★(株)キャリアリンク等：質の高い教員研修の実施
 - ★(株)Findアクティブラーナー：優れた教育実践の動画配信、オンライン研修

3 新たな学びの推進

AI(人工知能)では代替できない力やAIを使いこなす力を身につけるため、「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知スキル」を育成する。

PEERカリキュラム

P：プログラミング教育

- ★生活科、総合的な学習の時間で一定時数を確保
- ★(株)ベネッセ：教材提供、教員研修
- ★インテル(株)：教員研修
- ★(株)ソニーグローバル・エデュケーション：教材提供
- ★(株)アーテック：教材貸与、教材の使い方講座
- ★(社)CEEジャパン：教材「Bee-Bot」の提供

E：英語教育(中3で英検3級取得率70%以上が目標)

- ★小学校低学年からの実施、モジュール
- ★英検の検定料助成(小6、中3)
- ★教師の英検取得率に関する調査
- ★(株)ソフトバンク コマース&サービス：Musio貸与
- ★サイエイ・インターナショナル：英検対策講座
- ★香港日本人学校：交流事業、イメージ教育

E：経済教育(社会の動きや経済の動きについて身近な題材を通して学び、より良い生き方を考える授業)

- ★生活科、総合的な学習の時間で一定時数を確保
- ★(社)CEEジャパン：経済教育の授業の実践、市民大学での経済教育マスター育成

R：リーディングスキル(リーディングスキルの実態把握とその視点からの日々の授業改善)

- ★リーディングスキルの考え方や授業改善事例等をまとめたリーフレットの作成
- ★国立情報学研究所、(社)教育のための科学研究所：リーディングスキルテストの実施、結果の分析と活用

戸田型PBL(プロジェクト型学習)

- ★戸田型PBLの手引きの作成
- ★(財)日立財団：企業講師によるプロジェクト型探究学習プログラム
- ★インテル(株)、(株)リパネス：企業講師のデモを取り入れたプレゼンテーション大会の実施
- ★劇団四季：美しい日本語の話し方教室

豊かな心の育成

- ★(NPO) Sesame Workshop：セサミストリートカリキュラムの開発
- ★LINE(株)：情報モラル教育
- ★「考え、議論する道徳」の推進、デジタル教科書の活用

体力向上

- ★プロトレーナーによる小学校低学年への体力向上プログラムの実施
- ★プロトレーナーによる部活動サポート
- ★青山学院大学、日本体育大学：体育の授業での大学生のサポート
- ★西武ライオンズ、(NPO) 戸田スポーツクラブ：体育の授業等への講師派遣

4 EdTechの推進

教育とテクノロジーの融合による新たな学びの推進

- (主にICT環境の整備面)
- ★(株)Loilo：「ロイノート」の思考ツールを活用したアクティブ・ラーニングの推進
 - ★Google：タブレット型PC「クロムブック」の3000台導入(小：2000台、中：1000台)
 - ★(株)ベネッセ、(株)富士電機ITソリューション：ICT支援員の各学校への定期派遣
- ※その他、「3」の新たな学びをはじめ各取組において推進

5 多様なニーズへの対応

一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

- 〈教育相談体制の充実〉
- ★東京メンタルヘルス(株)：全小中学校にスクールカウンセラーを配置
 - ★東京メンタルヘルス(株)：教育センターに教育心理専門員、スクールソーシャルワーカーを配置
- 〈特別支援教育〉
- ★専門アドバイザーによる特別支援担当教員の指導
 - ★(株)LITALICO：学校への訪問支援、共同研究
 - ★獨協医科大学：発達障害専門医による医療相談
 - ★筑波大学：特別支援教育に関する研究
- 〈日本語指導〉
- ★日本語指導担当教員、日本語指導員の配置
- 〈家庭学習支援〉
- ★放課後補習授業
- 〈不登校支援〉
- ★(株)学研教育みらい：教育支援センター「すてっぴ」の体制強化
 - ★ひきこもりの児童・生徒へのアウトリーチ型支援
 - ★筑波大学等：ピアサポーター制度の活用
 - ★(財)こども教育支援財団：不登校対応相談員への研修
- 〈いじめ対策〉
- ★いじめ防止基本方針、「いじめ根絶ピースプロジェクト」
 - ★電話相談、SNS相談の一部導入